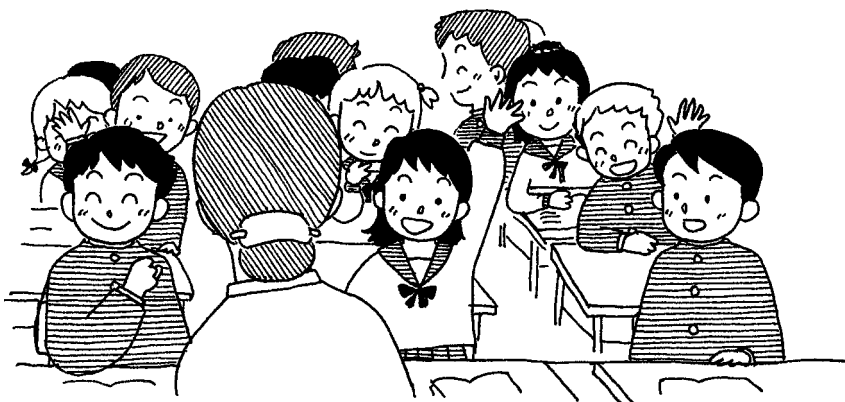
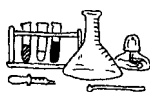


## 第2部

# 教育相談の姿勢を生かした授業の視点 ～ 1時間の授業の流れの中で～





学校生活の大半は授業です。子供たちとの具体的なかかわりは授業を通して生まれます。特に中学校、高等学校では教科担任として多くの子供とかかわりを持ちます。授業展開の中で、子供は教師を評価し判断します。教師の人間性が授業ににじみ出ているのです。

「この先生になら相談してみよう。」とか、「あの先生は頼りになる。」とかいう子供の思いは、毎時間の授業の中から生まれるといっても過言ではありません。

第2部では、「教育相談の姿勢を生かした授業の視点」を組みました。授業前から授業後まで、1時間の授業展開の順を追って、教師として気を付けたい項目を一覧表に整理してあります。その上で、それぞれの項目について、より具体的なエピソードを添えた解説を見開き2ページでまとめました。

教師の何気ない言葉や、ちょっとした仕草にも子供は敏感です。特に、心を閉ざしがちな子供にとっては、重く鋭く感じられるものです。配慮ある温かい言動が子供の心に届くとき、子供は本来の姿を見せ、生き生きと学習するようになります。

一覧表はチェックリストとして、また、解説は日々の授業実践を振り返る資料として活用していただけると幸いです。

